

第5回定例年次総会
2019年度（令和元年度）

議案書

日 時：2019年 6月29日（土）

15：40～17：00（予定）

会 場：佐藤水産文化ホール（中央区北4条西3丁目 光洋ビル3階）

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会 第5回総会次第

1. 開 会

2. 議 長 選 出

3. 議事録署名人選出

4. 資格審査報告

5. 議 事

第1号議案 2018年度（平成30年度）事業報告について

第2号議案 2018年度（平成30年度）決算報告について

第3号議案 2018年度監査報告について

第4号議案 2019年度（令和元年度）事業計画について

第5号議案 2019年度（令和元年度）予算について

第6号議案 理事の選出について

6. 議 長 退 任

7. 閉 会

2018年(平成30年)度 (一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 事業報告

1 事業実施概要

2018年度は、本会設立7年目(法人化後5年目)となり、年度末(2019年3月末)で正会員86社・人(前年比-7社・人)、所属住宅199件(前年比+9件)、賛助会員35社・人(前年比-8社・人)の合計121社・人(前年比-15社・人)と、所属住宅数は増でしたが合計会員数では前年比11%減と昨年(11%減)、一昨年(8%減)と3年続いての減となりました。

「出前講座」、「(仮称)子供・地域食堂」や「住宅フェア」に代わる賛助会員が参加主体となる新規事業については、具体的な取り組みに至りませんでした。

事業としては、定期的な勉強会の開催や市民セミナー開催を継続しました。

研修事業としては昨年同様、「サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修」、「サービス付き高齢者向け住宅等事業者・管理者研修」と「サービス付き高齢者向け住宅等虐待防止研修」の3本を開催予定でしたが「事業者・管理者研修」については最小開催人数の応募がなく、開催を断念しました。

また、ホームページで定期的に情報発信することなどにより、一般市民への高齢者向け住宅ならびに本会の周知に取り組みました。

2 事業活動

1) 事業者勉強会、事業者・市民セミナーの定期開催

(1) 事業者勉強会

・高齢者向け住宅の質の向上を図るため、事業者勉強会を定期的に開催しました。前年度同様、企画広報委員会の企画により6回の事業者勉強会を開催しました。また、開催時間(18時~20時)と会場(NPO法人シーズネット研修室)も前年度と同じです。

・第1回 5月28日(月) NPO法人シーズネット研修室 参加者数:29名

「私の高齢者向け住まいでの看取り事例」

講師1:東山 洋介氏(株健康会 有老 メディケアホーム元町北26条 管理者)

講師2:瀬戸 いく子氏(株昴宿 サ高住 昴宿かつらぎ 施設長)

講師3:柿原 尚美氏(さっぽろ高齢者福祉生活協同組合 常務理事、

サ高住 イリス 南郷 前施設長)

・第2回 7月26日(木) 18:30~ 北海道鮮魚店 北口店 参加者数:14名
会員交流会:口火のお話「私の高齢者向け住宅での困りごとあれこれ」

講師(口火のお話):石田 幸子氏(株アルワン 代表取締役 本会理事・副会長)

- ・第3回 9月14日(月) NPO法人シーズネット研修室 参加者数：19名
「医療側から見る高齢者向け住宅での医療連携のあり方」
講師：一木 宗宏氏(医師、医療法人社団 棕櫚の会 理事長、
ホサナ ファミリークリニック 院長)
- ・第4回 11月16日(金)、17日(土) 参加者数：14名
「見学会 in 釧路」
～1泊での釧路市、釧路町の会員運営のサ高住、有老4カ所の見学会～」
- ・第5回 1月29日(火) NPO法人シーズネット研修室 参加者数：35名
「認知症：基礎編～基礎知識と入居相談対応・職員の対応姿勢～」
講師：長井 卷子氏
(医療法人社団豊生会 地域包括ケア推進部主幹、認知症介護指導者)
講師：石田 幸子氏(㈱アルワン 代表取締役 本会理事・副会長)
- ・第6回 3月28日(木) NPO法人シーズネット研修室 参加者数：12名
「認知症：応用編～認知症入居者対応事例集～」
講師：秋澤 有美氏(㈱アルワン 小規模多機能かたくりの花 管理者)
講師：菅原 雅志氏(㈱エイワイシー コスモレー屯田 相談員)
講師：葛西 千鶴子氏(医療法人社団豊生会
サ高住 東苗穂ナーシングセンターひだまり センター長)
コメンテーター：長井 卷子氏
(医療法人社団豊生会 地域包括ケア推進部主幹、認知症介護指導者)

(2) 事業者・市民セミナーの開催

・高齢者向け住宅について事業者への情報提供と市民への周知のため、事業者・市民セミナーを開催しました。2月の開催は、本年は中止としました。

- 6月30日(土) 北海道クリスチャンセンター2階ホール 参加者数：約40名
事業者・市民セミナー(第4回総会(通算7回))
「これからの高齢者の住まいと介護～国政に参画しての今の思い～」
講師：池田 まき氏(衆議院議員)

2) サービス付き高齢者向け住宅等生活相談員養成研修

・本年度も、秋の実施、選択講義も可能とし、受講者を募集しました。

全講義受講者数は、最小開催人数の10名に達せず9名でしたが、昨年同様、開催継続の重要性を考慮し、開催しました。また、選択講義受講者は6名(1講義のみ)でした。研修開始以来の延べ受講者数(修了証を手交した全講義受講者)は161名となりました。

H30 年度（通算第 10 回） 10 月 20 日（土）、21 日（日）、11 月 9 日（金）、10 日（土）、
11 日（日）

NPO 法人シーズネット研修室

全講義受講者数：9 名

選択講義受講者数：6 名

3) サービス付き高齢者向け住宅等事業者・管理者研修

・本年度で 4 回目となる、事業者・管理者研修ですが、最小開催人数を昨年の 15 名から 10 名としましたが、5 名の申し込みに留まったため、残念ながら開催を断念せざるを得ませんでした。

4) サービス付き高齢者向け住宅等虐待防止研修

・本年度で 4 回目となる虐待防止研修はこれまで 9 月の開催としてきましたが、他の研修日程と連続するため、12 月開催として継続実施しました。また、カリキュラムのうち、医療系テーマを「アンガーマネジメント」に入れ替えとしました。

H30 年度（通算第 4 回）研修 12 月 11 日（火）

かでの 2・7 1050 研修室

受講者数：31 名

5) 会員住宅を会場とする「(仮称) 子供・地域食堂」の開設

・①事前調査において会員の複数住宅ですでに「子供食堂」を開設・運営している事例があること、②前提としていた関係補助金の受託に至らなかったことより事業を断念しました。

6) 会員の相談対応

・会員から持ち込まれた事業運営の課題、入居者の処遇などの相談については、ほとんどありませんでした。

7) 第三者委員としての苦情対応

・事業者、入居者からの苦情相談は特にありませんでした。

8) 会員相互の交流

・事業者勉強会（第 2 回）において意見交換会を兼ね「交流会」を開催し、14 名の参加がありました。

・事業者勉強会（第 4 回）において 1 泊で「見学会 in 釧路」を開催し、釧路の会員住宅を見学させていただくと共に、夜の懇親会には、会員外も含め 14 名の参加があり意見交換をしました。

9) 行政との連携

北海道、札幌市等の自治体には個別のイベントへの後援等をいただいたほかは、特段の接触する「場」はありませんでした。

10) 本会の周知活動

(1) ホームページでの情報発信

ホームページにおいて、昨年同様本会主催のイベント等の案内をはじめ、高齢者住まい関係の行政発表、マスコミ報道等を掲載しています。現在のパービューは40～60アクセス(1日)で昨年度と同様に推移しました。

ただし、会員向けサイトの利用は当初よりほとんどない状況が続いています。

(2) 会員向けレポート「北海道のサービス付き高齢者向け住宅登録の動向」の発行

昨年度以降、集計依頼先が多忙のため、発行できない状況となりました。当分依頼先の状況が変わらない見込みであることと、分析の内容が固定化しており、本レポートが一定の役割を終えたことから当分発行を休止いたします。

3 組織運営

1) 理事会の開催

次の通り、理事会を開催しました。

また、全ての理事会の議事録をホームページで公表しました。

6月 7日(木) 第1回(通算25回)理事会 6名出席

議題：第4回総会議案書について(H29年度事業報告および決算の確認、H30年度事業計画および予算)他

10月 9日(木) 第2回(通算26回)理事会 6名出席

議題：日本在宅医療連合学会第4回地域フォーラムへの参加・協力について他

2) 委員会の運営

(1) 企画広報委員会

12月12日(火) 第17回委員会 4名出席

議題：①本年度、第5回、第6回の事業者勉強会内容の協議

②明年度の事業者勉強会内容の協議

(2) 新規活動準備委員会

*委員会開催なし

3) 事務局体制

ボランティアによる事務局運営を継続しています。

(第2号議案)

2018年度 (一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 決算書 2018年4月1日～2019年3月31日
 収入 (単位:円)

項目	予算	決算	増減	備考
正会員会費	1,270,000	1,140,000	△130,000	86事業者・個人、端数は途中入会のため
賛助会員会費	400,000	285,000	△115,000	30社・個人、端数は途中入会のため
研修等収入	900,000	583,300	△316,700	事業者勉強会、相談員養成研修、事業者・管理者研修、虐待防止研修等
その他の収入	229,990	235,925	5,935	日本ケアマネジメント学会経理業務受託料、事業者・市民セミナー参加料、相談員養成研修テキスト販売、配布物の同送など
雑収入	10	11	1	受取利息、他はその他の収入に合算
計	2,800,000	2,244,236	△555,764	

支出 (単位:円)

項目	予算	決算	増減	備考
委託・外注費	150,000	64,800	△85,200	HP年間保守料、予算をとっていたサ高住登録の動向データ集計が出来ず大幅減
通信運搬費	500,000	656,063	156,063	郵送費、電話料金等、郵送料値上げ、発送回数増により大幅増
旅費交通費	300,000	210,730	△89,270	事務局ボランティア通勤費、理事会・各委員会委員交通費、各研修等講師交通費等
印刷製本費	450,000	432,352	△17,648	高住協封筒作成費、プリンター利用料、軽印刷費等
広告宣伝費	20,000	73,000	53,000	日本ケアマネ学会ランチセミナー弁当代、事業者・市民セミナーチラシ同封料
交際費・会議費	20,000	2,719	△17,281	理事会、委員会、研修講師等の飲料等
消耗品費	20,000	46,227	26,227	コピー用紙、ラベルシート等文房具類
消耗什器備品費	100,000	88,344	△11,656	事務局ノートPC購入
新聞図書費	80,000	45,360	△34,640	高齢者住宅新聞、シルバー新報、介護新聞、研修時配布書籍等
租税公課	100,000	101,649	1,649	
諸会費	10,000	10,000	0	北海道ヘルスケア産業振興協議会年会費
諸謝金	400,000	371,408	△28,592	市民セミナー・各研修・勉強会等講師
賃金(委託費)	0	0	0	事務局業務、会計業務はボランティア
支払手数料	10,000	540	△9,460	振込手数料等
家賃	380,000	372,000	△8,000	家賃(光熱費を含む)
賃借料	100,000	63,121	△36,879	市民セミナー・各研修・勉強会等会場費
雑費	10,000	0	△10,000	
予備費	150,000	0	△150,000	「子供・地域食堂」関連事業開始せず
計	2,800,000	2,538,313	△261,687	

収入 2,244,236－支出 2,538,313＝ △294,077

繰越金等 (単位:円)

項目	予算	決算	前年度決算からの増減	備考
当期収支差額	--	△294,077	△294,077	
前期繰越額	748,055	748,055	0	
計(次期繰越予定)	748,055	453,978	△294,077	

*決算は、収入は会費収入、研修収入とも予定に大きく届きませんでした。支出も通信運搬費、広告宣伝費以外は概ね予算を下回りましたが、単年度としては30万円弱の赤字となりました。

(第3号議案)

* 監査報告書は本議案書送付時点で監査中のため総会当日の提出とさせていただきます

2018年度 一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会 監査報告書

一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会

会長 奥田 龍人 殿

監事 _____

監事 _____

監事 _____

私たちは、2018年（2018年4月1日から2019年3月31日）の一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会の業務および財産の状況と事業報告書および決算書について監査を実施いたしました。

私たちは理事の業務および財産の状況に関する監査にあたり、帳簿や証拠書類の照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、本会の業務は適切に執行され、会計処理については一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されていると認められました。

よって、私たちは、上記の事業報告書および計算書類が一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会の2018年度、2019年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行状況および同日現在の財産の状況を適切に表示しているものと認めます。

以上

2019年度 一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会 事業計画

1 基本方針

2019年度は、昨年同様、本会の目的である高齢者向け住宅の周知活動と質の向上を目指し、これまで実施してきた研修会等を継続するほか、社会資源として高齢者向け住まいが地域に貢献し、地域に認知される仕組みづくりを検討します。また、新たな取り組みが協会の財務体質強化の一助となることも目指します。

2 事業活動

1) 事業者勉強会、事業者・市民セミナーの定期的開催

継・高齢者向け住宅の質の向上を図るため、事業者勉強会を2ヵ月毎、奇数月に開催します。内容は本会の企画広報委員会で企画します。なお、高齢者向けの住宅における「働き方改革」をいかに進めるかをテーマにした回を検討します。

継・6月の総会時と2月に事業者・市民セミナーを開催します。

新・昨年度実施に至らなかったが、本年度も継続して会員住宅での職員対象あるいは地域住民を対象とした「出前講座」の実施を検討します。

2) 「高齢者向け住宅相談員養成研修」の開催

継・昨年度同様、10月～11月に実施を予定します。カリキュラム単位毎の受講も引き続き可能とします。なお、研修名称はこれまで「サービス付き高齢者向け住宅等〇〇研修」の名称としてきましたが、受講対象者が限定されるかのように受け取られる可能性があるため、本年度より上記の名称で統一することとします。

3) 「高齢者向け住宅事業者・管理者研修」の開催

継・昨年度同様、9月実施を予定します。カリキュラム単位毎の受講も引き続き可能とします。

4) 「高齢者向け住宅虐待防止研修」の開催

継・昨年度同様、12月実施を予定します。

5) 「高齢者向け住宅におけるハラスメント対策研修」の開催

新・最近、高齢者介護において利用者やその家族からヘルパー等のハラスメントの事例が取り上げられる事が多くなりました。そこで、現場の職員はもとより管理者や法人としてどのように対応すべきかを学ぶ研修開催を検討します。

6) 会員の相談対応の検討と実施

継・会員から持ち込まれた事業運営の課題、入居者の処遇などの相談対応を、引き続き新規事業準備委員会において、仕組みを検討します。

7) 第三者委員としての苦情対応の実施

- 継・事業者の苦情受付の第三者委員としての苦情受付対応を、引き続き新規事業準備委員会において仕組みを検討します。

8) 会員相互の交流

- 継・昨年同様7月の事業者勉強会において意見交換を兼ね「交流会」を開催します。
- 継・住宅運営者である正会員にとっても複数の高齢者向け住宅を訪問する機会が少なく、訪問により自己の住宅運営の参考となることから昨年同様、事業者勉強会としての見学会を11月に実施しました。本年度も事業者勉強会として札幌以外に1泊で出かけ11月に実施を予定します。

9) 行政との連携

- 継・高齢者向け住宅の質向上に向け本会が実施している各種研修について北海道、札幌市等の自治体に、何らかのバックアップをいただけるよう協力を依頼します。

10) 本会の周知活動

- 継①ホームページでの情報発信を引き続き行います。
- 新②高齢者住宅と入居者を繋ぐ中間ユーザーである、ケアマネジャー、MSW、障害相談支援事業所など向けに高齢者向け住宅ならびに本会の活動を周知するための情報を発信します。また、この周知活動が賛助会員の事業の助けとなり、賛助会員の増加につながることを目指します。

11) その他

- ・その他、本会の目的に沿った事業を行います。

3 組織体制

組織図は従来のおりで運営します。

1) 理事会および委員会

- ・理事会については、「(第6号議案) 役員の選出(案) について」によります。
- ・委員会の体制については、次回理事会において協議・決定します。

2) 事務局

- ・昨年同様、財務状況の好転が見込め、先住職員雇用までは、ボランティアによる運営を続けます。

(第5号議案)

2019年度 (一社)北海道高齢者向け住宅事業者協会 予算(案)2019年4月1日~2020年3月31日
収入 (単位:円)

項目	予算	前年度予算	前年度決算	前年度決算からの増減	備考
正会員会費	1,200,000	1,270,000	1,140,000	60,000	90 事業者・個人
賛助会員会費	300,000	400,000	285,000	15,000	30 社・個人
研修等収入	600,000	900,000	583,300	16,700	事業者勉強会、相談員養成研修等受講料等
その他収入	199,990	229,990	235,925	△35,935	事業者・市民セミナー等
雑収入	10	10	11	△1	受取利息、他はその他の収入に合算
計	2,300,000	2,800,000	2,244,236	55,764	

支出 (単位:円)

項目	予算	前年度予算	前年度決算	前年度決算からの増減	備考
委託・外注費	80,000	150,000	64,800	15,200	HP 年間保守料等
通信運搬費	500,000	500,000	656,063	△156,063	郵送費、電話料金
旅費交通費	210,000	300,000	210,730	△730	事務局業務委託者通勤費、各種交通費、駐車場料金等
印刷製本費	430,000	450,000	432,352	△2,352	封筒印刷、軽印刷、プリンタ利用料等
広告宣伝費	20,000	20,000	73,000	△53,000	チラシ同送料等
交際費・会議費	10,000	20,000	2,719	△7,281	理事会、委員会等の飲料等
消耗品費	50,000	20,000	46,227	3,773	コピー用紙、ラベルシート等文房具
消耗什器備品費	10,000	100,000	88,344	△78,344	特に備品購入予定なし
新聞図書費	50,000	80,000	45,360	4,640	高齢者住宅新聞、シルバー新報、介護新聞等
租税 公課	100,000	100,000	101,649	△1,649	
諸会費	10,000	10,000	10,000	0	北海道ヘルスケア産業振興協議会年会費
諸謝金	380,000	400,000	371,408	8,592	市民セミナー・各研修・勉強会講師等
賃金(委託費)	0	0	0	0	事務局業務・会計業務はボランティアによる
支払手数料	2,000	10,000	540	1,460	
家賃	372,000	380,000	372,000	0	家賃
賃借料	70,000	100,000	63,121	6,879	市民セミナー、各研修、事業者勉強会等会場費
雑費	6,000	10,000	0	6,000	
予備費	0	150,000	0	0	
計	2,300,000	2,800,000	2,538,313	△238,313	

繰越金等 (単位:円)

項目	予算	前年度予算	前年度決算	前年度決算からの増減	備考
計(次期繰越予定)	---	---	453,978	---	

役員を選出(案)について

役員任期は、定款第24条(任期)により2年(ただし、再任を妨げない)と定めています。現役員は、2017年(平成29年)6月開催の第3回総会において選出され、役員任期の2年を経過したため、新役員を次の通り、現役員全員留任で提案します。

なお、定款第13条(権限)より「(2) 理事及び監事の選任又は解任」は、社員総会決議事項となっています。

*記載は、氏名のあいうえお順

理事(現任)	天野 佐智子 (社会福祉法人ろく舎)
理事(現任)	石田 幸子 (株式会社アルワン)
理事(現任)	梅澤 秀幸 (株式会社ファイブスター札幌)
理事(現任)	奥田 龍人 (一般社団法人 北海道ケアマネジメントサポートリンク)
理事(現任)	川尻 明 (株式会社ネクサスケア)
理事(現任)	坂本 正樹 (社会福祉法人 札幌東勤労者在宅医療福祉協会)
理事(現任)	下川 孝志 (有限会社静内ケアセンター・新ひだか町)
理事(現任)	関口 由美 (株式会社尚進)
理事(現任)	本見 研介 (株式会社エムリンクホールディングス・北見市)
監事(現任)	杉岡 直人 (北星学園大学社会福祉学部教授)
監事(現任)	棟 達也 (棟達也税理士事務所)
監事(現任)	山本 明恵 (NPO 法人さっぽろ住まいのプラットフォーム理事長)